



ものづくり文化の館 in 円頓寺七々まつい

歴史と伝統に彩られた”ものづくりのまち”西区。「ものづくり文化の館」では、様々なものづくり体験ができるほか、職人の実演や展示をご覧ください。

この機会にぜひ、西区の魅力に触れてみてください。

日時 平成30年7月28日（土）29日（日）

午後2時30分～午後7時

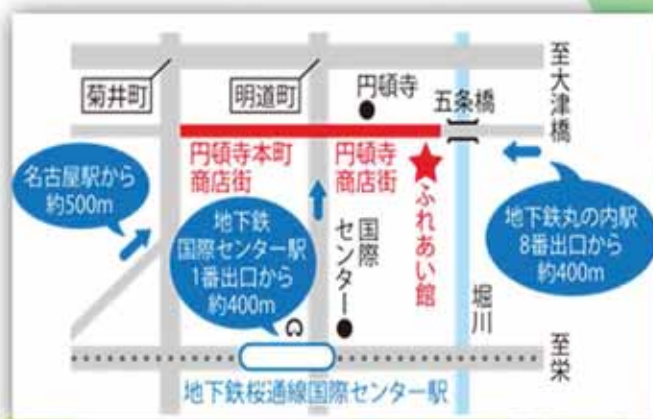
（28日は午後6時で終了します。）

場所 円頓寺商店街内「ふれあい館」

問合 西区役所地域力推進室

（Tel 523-4525）

「ものづくり文化の道」推進協議会



ものづくり文化の道

名古屋のまちの成り立ちは、今から約400年ほど前の「清須越し」に始まります。

名古屋城の西側では堀川や美濃路によって物流が盛んになり、産業が発達して町人街が形成されていきました。こうして名古屋扇子や友禅、提灯や和風などの産業が生まれ、今日まで受け継がれています。

明治以降は近代産業の立地が盛んになります。自動織機や洋食器の工場がその代表格で、現在は「トヨタ産業技術記念館」や「ノリタケの森」でその歴史や魅力を体感することができます。さらに菓子産業も盛んで、全国的に有名な菓子メーカーをはじめ、中小の菓子関連業者が数多く存在します。明道町や新道周辺には菓子問屋やメーカーが集積しています。

歴史ある町並みも魅力で、四間道や美濃路周辺には江戸時代の蔵や町屋が今なお残り、昭和の高度成長期に隆盛を極めた円頓寺商店街もレトロな雰囲気を残しながら、再び活気を取り戻しつつあります。

これら魅力的なコンテンツが集中したエリアを総称して「ものづくり文化の道」と呼んでいます。

「ものづくり文化の道」は”名古屋駅から最も近い観光エリア”なのです。

<http://www.nagoya-monodukuri.net/>（「ものづくり文化の道」で検索）